

1. 木質バイオマス関連情報

■内閣府、「再生可能エネルギー等に関する規制等の総点検タスクフォース」を設置し、2020 年 12 月 1 日以降、月に 1～2 回のペースで会議を開催。政府発表の 2050 年カーボンニュートラル社会の実現のためには、再生可能エネルギーの主力電源化及び最大限の導入が非常に大きな鍵を握り、その障壁となる規制等を総点検し、必要な規制見直しや見直しの迅速化を促すことが不可欠であるとして設置したもの。第 1 回目会議で木質バイオマスボイラ関係団体からの要望として出されたバイオマスボイラの「①ばい煙測定に関する規制の見直し（大気汚染防止法）」および「②温水ボイラーの圧力・伝熱面積規制の見直し（労働安全衛生法）」については第二回会議で早速事務局が進捗状況を報告。①については環境省が「環境保全の観点や自治体の対応状況等も加味し精査しながら、全国の自治体を対象とした実態把握や専門家による検討を令和 2 年度内に完了し、伝熱面積の要件を撤廃する。」とし、②については厚生労働省が「海外規制（欧州や米国等）及びバイオマス温水ボイラーの特性について詳細調査を行った上で、専門家による技術的検討等を経て、令和 3 年夏までに、具体的な規制の見直しについて一定の結論を得る。」として対応の方向性を定めた。これを受け、環境省が 2021 年 2 月 1 日に「令和 2 年度ばい煙発生施設影響評価検討会（第 1 回）」を開催。2020 年度内に 3 回検討会を開催し、詳細を詰める予定。第 1 回の資料や議事録等は下記サイトを参照【内閣府：2020/11 月、環境省：2021/02/12】

https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/conference/energy/e_index.html
<https://www.env.go.jp/press/109047.html>

■長野県松本市、国の「スーパーシティ型国家戦略特区」に応募するため、市のスーパーシティ構想を支える連携事業者（株）NTT ドコモ（東京）や中部電力（株）（愛知）、国立大学法人信州大学（長野）など県内外の企業や団体 22 グループ 59 者を選定したと発表。スーパーシティ構想は、人工知能（AI）やビッグデータなどのデジタル技術を活用して最先端の

サービスを提供する都市づくり。同市の構想は「医療・福祉・健康づくり」と「100%カーボンニュートラル（二酸化炭素排出実質ゼロ）」の 2 本柱。小水力や地熱、木質バイオマス等再生可能エネルギーの導入で電力の自給自足を図る。選定事業者らの提案を基に応募内容をまとめ、期限の 4 月 16 日までに申請する方針【毎日新聞：2021/02/23、松本市：2021/02/22】

<https://mainichi.jp/articles/20210223/dtl/k20/010/097000c>
<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/jigyosya/oshirase/renkeijigyosya.html>

■長野県木曽町の役場新庁舎と防災センターが完成し、2 月 22 日に竣工式を開催。中山道宿場町の建物に見られる伝統様式「出し梁造り」を取り入れたり、カラマツやヒノキなどの地元産材をふんだんに使ったりと、木曽らしさや木の魅力を発信できる施設となった。新庁舎は木造一部鉄骨鋼板ぶき平屋で、設備棟と災害時に必要な資材などを置く備蓄棟を合わせた 3 棟（延べ 2,772 m²）。設備棟には地域資源を無駄なく利用できる木質チップボイラとチップサイロを導入しており、夏と冬の冷暖房をまかなう。外構工事を含む総事業費は約 18 億 5,000 万円。うち、自然エネルギー等（チップボイラ含む）の建設工事費は 1 億 2,880 万円。4 月 5 日開庁の予定【市民タイムス：2021/02/23、広報きそまち 3 月号：2021/03/10、木曽町：2021/03/16】

<https://www.shimintimes.co.jp/news/2021/02/post-12782.php>
<https://www.town-kiso.com/files/file/box/6b/6ba28c922e8b1eb2d3c6dc272729084f54a9f33f.pdf>
<https://www.town-kiso.com/chousei/kouhou/100195/101414/>

■（公財）日本財団（東京）、「脱炭素」をテーマに 34 回目の 18 歳意識調査を 1 月中旬に実施。全国の 17 歳～19 歳男女を対象にインターネットで調査（回答数 1,000）。「温暖化の主な

原因」を聞かれる質問には全体の 66.7%が「人間の社会活動に伴う温室効果ガスの排出」と回答。世界 5 位である日本の二酸化炭素排出量については「削減すべきだ」が 73.0%で「社会活動のためやむを得ない」(15.7%)を大きく上回り、2019 年に同じ質問で調査した時より約 4 ポイント増加。「二酸化炭素の排出を削減するために進めるべき取り組み」という質問には「再生可能エネルギーの開発促進」(66.0%)が最も高く、二位の「電気自動車および蓄電池の開発促進」(36.4%)、三位の「家庭および企業の省エネ対策の推進」(33.7%)等を大きく引き離れた。「再生可能エネルギーの将来を期待するか」という質問には「期待する」が 62.9%と過半数を占め、期待する再生可能エネルギーについては「太陽光発電」(69.1%)が最多で「水力発電」(39.9%)、「バイオマス」(34.9%)が続いた【(公財)日本財団：2021/02/26】
<https://www.nippon-foundation.or.jp/who/news/pr/2021/20210225-53873.html>

■佐賀県佐賀市、FIT 制度が 2023 年度に終了することを受け、4 月から市清掃工場のバイオマス発電の活用策を検討へ。同バイオマス発電所はごみ焼却の熱を利用した蒸気でタービンを回し、約 32,000MWh/年を発電。電気は焼却炉の運転や隣接する健康運動センタープールの温水などに使用。余った電力約 18,000MWh は現在東京都の新電力会社に最大 17 円/kWh で販売しているが、2023 年度以降は 7~8 円/kWh と半額近くになることが見込まれており、対応策の調査研究を民間に委託する。関連予算 1,170 万円を盛り込んだ新年度当初予算案を 3 月 1 日開会予定の定例議会に提案。調査研究の期間は 7 月から来年 2 月までの予定で、4 月に業者を公募する。先進事例も踏まえ、一定程度の価格で販売できる仕組みづくりを 2022 年度から計画する【佐賀新聞 LIVE：2021/02/27】
<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/636772>

■(株)グリーン発電大分(大分)、日本フォレスト(株)(群馬)、大分県日田市、五馬市西自治会(大分)の 4 団体で、2 月 26 日に「災害時における協力等に関する協定」を締結。災害時にグリーン発電大分天瀬発電所の休憩室、トイレ、シャワー室の約 170 m²の設備および日本フォレスト天瀬工場の会議室、事務室、トイレの約 300 m²の設備を自主避難所として利用できるよう、また再生可能エネルギー発電施設

で発電された電気の活用に関して協定を締結したもの。同施設は 24 時間(365 日)勤務体制をとっており、避難者の受け入れは常時可能。さらに系統遮断時(送電線鉄塔損壊等)による停電の際、発電プラント稼働状態であれば施設内は停電しないため、冷暖房、テレビラジオの利用、通信機器の充電、水洗トイレ、温水シャワー設備の利用が常時可能となっている【(株)モリショウ：2021/02/27】
<http://www.morisho.co.jp/news/detail.php?id=202103021053492263>

■愛知海運(株)(愛知)、バイオマス燃料輸送を強化。発電用燃料の PKS について、供給地側で品質を測定する機器を導入するほか、ドローンで貨物保管状況の撮影を行うなど、サービスを拡充する【日本海事新聞：2021/03/02】
<https://www.jmd.co.jp/article.php?no=265360>

■山梨県小菅村、運営する日帰り温泉施設「小菅の湯」の湯を加温する電気ボイラを今年 7 月に薪ボイラに切り替え。コスト削減に加え、大量の薪を購入することで荒廃が進む人工林や広葉樹林の間伐を促進させるのが狙い。村は 7 月末にボイラのリース契約が切れることから、薪を燃やして加温する薪ボイラの導入を決定。薪の活用を契機に、村内で途絶えつつある伐採技術を移住者らを交えて復活させ、共生型の山村文化の復興を目指している【毎日新聞：2021/03/03】
<https://mainichi.jp/articles/20210303/dtl/k19/040/089000c>

■事業停止し破産した民間産業廃棄物処理業者「エコシティ宇都宮」(栃木)に交付された補助金を巡り、最高裁で栃木県の逆転敗訴が確定。同社は 2006 年、宇都宮市平出工業団地でバイオマスを活用して事業生ごみを堆肥にするリサイクル施設を稼働。「県内初の民間堆肥化事業」という触れ込みで、事業費約 8 億 2 千万円のうち約 2 億 6 千万円を国からの補助金「バイオマスの環づくり交付金」で賄ったが、施設の故障や火災等が相次ぎ、2 年余りで操業を停止。補助金は同社→宇都宮市→栃木県→農水省というルートで申請されており、国から補助金返還を求められた県は、同社の稼働時期分を除く 1 億 9,659 万円の支払いを「肩代わり」する形で国に返納。市に相当額の支払いを求める訴えを起こしたが拒まれ、2012 年に市を提訴。1、2 審ともに県の請求は棄却され、2016 年に敗訴が確定。2013 年には市民オンブズパーソン栃木が、福田

知事に相当額の損害賠償を求めるよう県を相手取り提訴。1 審は県が敗訴したが、2 審は県が勝訴し、2017 年に最高裁はパーソンの上告を棄却。2016 年には県が国に返還した補助金相当額約 1 億 9,600 万円の返還を求める訴訟を起こし、1、2 審は県が勝訴したが、最高裁が県の請求を棄却し、逆転敗訴が確定【下野新聞：2021/03/03、産経新聞：2015/03/30】

<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/423558>

<https://www.sankei.com/region/news/150330/rgn1503300019-n1.html>

■JFE エンジニアリング（株）（東京）、廃棄物焼却炉であるシャフト式ガス化溶融炉の燃料としてバイオコックスを利用する実証事業を近畿大学（大阪）および南洋理工大学（シンガポール、以下「NTU」）の三者で共同研究へ。シンガポール国では、木屑等の木質系バイオマスの一部および污泥系バイオマスの大部分が未利用となっており、その利活用技術の開発が各所で進められている。実証事業はシンガポール環境庁が公募した補助事業において採択されたもので、三者はごみの溶融処理に要する燃料の一部にバイオコックスを使用する実証試験を、NTU が所有する JFE シャフト式ガス化溶融炉で行う。事業には本年 5 月より着手【JFE エンジニアリング（株）；2021/03/03】

<https://www.jfe-eng.co.jp/news/2021/20210303.html>

■大阪府泉佐野市でタオル製造業を営む（株）スマイリーアースが、タオル製造で発生した処理水を活用し、有機農業と養殖業へ参入。同社は 2018 年に製造過程で発生する工場排水を無害化する技術「自浄清綿法」を開発し、特許を取得。無害化した処理水を貯水するプールを製造し、メダカやヌマエビの養殖に成功。本格的な魚の養殖へ挑戦するため、2021 年度中に処理水の貯水プールを二つ増設し、貯水容量を 5～6t に拡大する。既に同社では保有する里山の間伐材を活用したバイオマス発電を実施。タオルの洗浄、乾燥など工場内で使用する熱源は全てバイオマスエネルギーでまかない、CO₂ 排出量削減に貢献。熱源にできない間伐材の利活用を推進するため、土壌改良材の開発にも着手し、将来の有機農業に生かす【（株）日刊工業新聞社：2021/03/03】

<https://newswitch.jp/p/26156&ct=ga>

■栃木県那須郡那珂川町の山間部にある廃校（旧馬頭東中）でコーヒー栽培。2008 年に廃校になった同校では現在、木材の乾燥に利用している「木質バイオマスボイラ」の余熱を活用し、全国でも珍しいコーヒーのハウス栽培が進む。町地域資源活用協同組合の鈴木栄子さんが 2014 年から開始。現在は約 360 m²のハウス内で約 150 本を栽培。最盛期を迎えた 2 月下旬からは摘み取り体験が始まった。収穫したコーヒーは春以降、同組合が運営する谷田の交流型直売施設「あかねてらす」や町のイベントなどで提供される予定【毎日新聞：2021/03/07、下野新聞：2021/02/13】

<https://mainichi.jp/articles/20210307/dtl/k09/040/057000c>

<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/417257>

■世界最大のオイルフィールドサービス会社シュルンベルジェ・ニュー・エナジーが、シェブロン・コーポレーション（USA）、マイクロソフト（同）、クリーン・エナジー・システムズ（同）と米国カリフォルニア州メンドータでカーボン・ネガティブな電力を生み出す革新的な炭素回収・隔離バイオエネルギー（BECCS）プロジェクトを開発する計画を発表。この BECCS プラントは休止中のバイオマス・プラントを再開させ、アーモンドの木などの農業系廃棄物（約 20 万 t/年）を再生可能合成ガスに変換し、燃焼器内で酸素と混合して発電する。BECCS プロセスから出る炭素の 99%以上は、CO₂ を近くの地中深くに注入することで恒久的に回収・貯留。このプラントが完成すれば、米国の 6 万 5,000 世帯以上が電力を使用した際の排出量に相当する約 30 万 t/年の CO₂ が除去される見込み。さらにこのバイオエネルギー技術は、従来のバイオマス・プラントで燃焼時に発生していたような亜酸化窒素や一酸化炭素、粒子を排出せず稼働するよう設計されており、セントラルバレーの大気質の改善にも役立つ。関係企業はフロントエンド・エンジニアリングおよび設計にすぐに着手し、2022 年には最終的な投資決定が行われる予定【財経新聞：2021/03/09】

<https://www.zaikei.co.jp/releases/1238603/>

■東京センチュリー（株）（東京）、フォレストエナジー（株）（東京）と同社が販売する小型バイオマス熱電併給設備「Volter 40 Indoor（発電 40 kW、熱 100 kW）」の販売提携に関して基本合意したと発表。東京センチュリーは太陽光発電事業者としては国内屈指の規模を有しており、再生可能エネ

ルギー由来の電力需要がある顧客に対して Volter の活用を提案するとともに、太陽光発電事業等で培った事業ノウハウを生かして Volter を活用した小型バイオマス熱電供給事業への参画を目指す【東京センチュリー（株）：2021/03/09】

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8439/tdnet/1942430/00.pdf>

■農林中央金庫（東京）、「公益信託農林中金森林再生基金（通称：農中森力（もりちから）基金）」の第7回助成案件を決定し、公表。今回は21件の応募の中から9案件、合計193百万円の助成が決定。そのうち山口県のカルスト森林組合の「『針・広葉樹林の一体型整備』による森林再生モデル事業」では、「チップボイラによる温熱供給等構想を打ち出している行政との連携の下、地域資源の循環利用を目指した面的な整備を行い、低質材や大径化した材をバイオマス燃料や椎茸生産等、地域内で活用可能な森林への誘導により、森林の多面的機能の向上と林業経営の両立を図る」としている。農中森力基金の第8回助成事業の募集は2021年4月1日～6月30日まで実施し、2022年3月に決定する予定【農林中央金庫：2021/03/10】

https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2021/post-617.html

■福島県会津若松市、令和2年度みらいづ探究ラボ研究成果発表会（WEB開催）を開催。「みらいづ探求ラボ」は高校・大学・社会教育による連携事業で、令和2年度は高校生19名が大学教員等の指導を受けながら、図書館などを活用した課題探究学習に取り組んだ。2020年6月～2021年2月にわたる全10回の講座を通し、受講生が研究論文をまとめ、プレゼンテーションを実施。審査の結果、会津高等学校2年の福原さくらさんの「会津若松市と木質バイオマス発電—木質バイオマス発電で再生可能エネルギー都市を作れるか—」が優秀賞に【会津若松市：2021/03/15】

<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2021030400019/>

■アジア域内の近海貨物船の急激な需給逼迫により、日本積み鋼材や東南アジア積みバイオマスの輸送に一部で混乱。バイオマスでは過去の低市況時に中長期COA（数量輸送契約）を大量に獲得したオペレーターが足元のスポット用船料高騰で逆ザヤに直面。一部の海外向け貨物で輸送不履行の懸念が

高まっている【日本海事新聞：2021/03/16】

<https://www.jmd.co.jp/article.php?no=265737>

■農水省、関係7府省（内閣府、総務省、文科省、農水省、経産省、国交省、環境省）が共同で選定しているバイオマス産業都市について、令和2年度に新たに選定した4町村の取組を紹介する動画を公開。今回選定されたのは北海道湧別町、秋田県大潟村、三重県多気町、および三重県南伊勢町。動画は下記サイトより閲覧可【農水省：2021/03/16】

https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/bio_s/210316.html

■愛媛製紙（株）（愛媛）がバイオマス発電施設を新設し、稼働。同発電所のボイラ発電設備は2018年3月に（株）タクマ（兵庫）が受注。（一社）環境共創イニシアチブ（SII）（東京）の「平成29年度エネルギー使用合理化等事業者支援事業」の採択を受けた事業で、木質バイオマス燃料とRPF（古紙や廃プラスチックを固形化したもの）を石油代替燃料として利用し、工場内の電力と熱源をまかなうことを目的としている。発電出力は16,800kW。施設建設費用は80億円【日本経済新聞：2021/03/17、（株）タクマ：2018/03/29】

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ070032130W1A310C2LA0000/>

<https://www.takuma.co.jp/news/2017/20180329.html>

■サントリープロダクツ（株）（東京）、長野県大町市に建設中の「サントリー天然水北アルプス信濃の森工場」について、今年5月末に稼働を開始すると明らかに。同工場はサントリー天然水としては第四の水源地。遊歩道や「サントリー天然水」ができるまでの過程を体感するシアタールーム・見学通路なども設置される体験型施設となる。環境にも配慮しており、再生可能エネルギー発電設備やバイオマスボイラを導入。再生可能エネルギー由来電力の調達等により、同社で初めて「CO₂排出量ゼロ工場」を実現する。商品名は「サントリー天然水〈北アルプス〉」に決定しており、主に東日本エリアに出荷。販売開始は夏の予定【中日新聞：2021/03/17、サントリー食品インターナショナル（株）：2019/11/22】

<https://www.chunichi.co.jp/article/219374>

<https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/pr/article/SBF0920.html>

■2021 年度に国の「バイオマス産業都市」認定を目指す長野市、認定を機に市内のバイオマス発電所を増やすなどし、脱炭素の取組を加速していく方針。一連の計画は、市の 21 年度予算案のゼロカーボン推進事業の中に盛り込んだ。申請に向けて、近く事業計画も策定する方針。同産業都市の認定後は 3 年後をメドに、市内で木質や食品残渣を活用した民間のバイオマス発電所の稼働を視野に入れている【日本経済新聞：2021/03/17】

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOQB175BF0X10C21A3000000/>

■東芝グループのシグマパワー有明（神奈川）の三川発電所（福岡）にあるパイロットプラントで、世界初のバイオマス CCS（二酸化炭素の回収・貯留）プロジェクトの実証試験開始。実証設備を手がけるのは、東芝エネルギーシステムズ（株）（神奈川）。火力発電所の排ガスから脱硝、脱硫した後 CO₂ を分離回収する。化学吸収法を採用し、低温で CO₂ 吸収して高温で CO₂ を放出する特徴のアミン液により、排ガス中の CO₂ を連続的に回収している。現在、1,000t/日排出する CO₂ の 50%以上を分離回収しているが、実際に CO₂ を貯留するのは実証の次の段階。現状は大気に放出している。CO₂ 排出権を売って収入にできる等のインセンティブが必要であり、CO₂ 回収後の貯留地の確保といった課題もある。文献調査によると、日本の沿岸域に約 1,500 億 t～2,400 億 t の CO₂ を貯留

できる可能性があり、実証レベルでは日本 CCS 調査（株）（東京）や J-POWER（東京）等が北海道苫小牧市で 30 万 t の圧入試験に成功している【ニュースイッチ：2021/03/19】

<https://newswitch.jp/p/26403&ct=ga>

■砕石や生コン製造、土木工事を手掛ける（株）ダイセン（愛知）、バイオマス発電所から発生する木質焼却灰のリサイクル事業に乗り出し、北海道石狩市で開発されている大規模バイオマス発電所の操業に合わせてリサイクルプラント建設へ。木質灰を再資源化して採石場の埋め戻し材などに再利用できる優位性をアピールし、同事業を拡大する考え。リサイクルプラントは 2022 年 5 月に稼働する計画【中部経済新聞：2021/03/19】

<https://www.chukei->

[news.co.jp/news/2021/03/19/OK0002103190501_01/](https://www.chukei-news.co.jp/news/2021/03/19/OK0002103190501_01/)

■農水省、令和 3 年度農林水産予算について概算決定し、概要を公表。詳細は下記サイトを参照【農水省：2021/03/23】

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r3kettei.html>

■林野庁、「令和 3 年民間団体に対する林野庁補助事業の補助金交付候補者について（第 1 回公募分）」を公表。詳細は下記サイトを参照【林野庁：2021/03/24】

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/index.html>

2. ペレット関連情報

■長野県、薪やペレットストーブといった木質バイオマスの利用促進を目的とした動画を制作。2020 年 10 月に「令和 2 年度木質バイオマス利用普及動画制作・発信業務」の業務委託事業者として選定された広告会社のアド・コマーシャル（株）（長野）が制作。「炎のあるくらしははじめませんか～薪・ペレットで身体と心と『森林』を元気に～」と題された動画で、薪ストーブユーザーとペレットストーブユーザーが一緒に出演し、インタビューの中でそれぞれの良さについて語っている【長野県：2021/02/09】

<https://www.pref.nagano.lg.jp/mokuzai/sangyo/biomass.html>

■42 の国と地域の 500 名を超える科学者が木質バイオマスを使った発電はカーボンニュートラル（炭素中立）ではないと主

張する書簡を 2 月 11 日（米国時間）に提出。書簡は米国のバイデン大統領、欧州委員会のフォン・デア・ライエン委員長、欧州理事会のミシェル議長、日本の菅総理大臣、大韓民国の文大統領に同時に送付。バイオマスの発電利用により森林が伐採され、森林に蓄えられている炭素が大気中に放出されること、森林の再生には時間がかかり、数十年から数百年にわたって気候変動を悪化させること、バイオマスの発電利用は化石燃料を使用した場合の 2～3 倍の炭素を放出する可能性があることを指摘。2012 年に FIT 制度開始後バイオマス発電事業が急増し、ペレット等の輸入バイオマス量が急増している日本については、「木材を燃やす発電所への補助金をやめる必要がある」と言及。欧州連合や米国にはバイオマスの燃焼をカーボンニュートラルや低炭素としてみなすのをやめるよう訴え、各国政府に将

来のネット・ゼロ・エミッション目標を達成するために、「森林を燃やすのではなく、森林の保全と再生に努めるべき」と呼びかけている【国際環境 NGO FoE Japan：2021/02/16、東洋経済 ONLINE：2021/03/16】

<https://foejapan.wordpress.com/category/%E6%A3%AE%E6%9E%97/>

<https://toyokeizai.net/articles/-/416716>

■（株）さいかい産業（新潟）、ペレットストーブ事業および営業スタッフをこれまでの同社ストーブの製造工場でもある（株）新越ワークス（新潟）へ引き継ぎ、事業の効率化を図るため体制変更したと発表。今後の事業は、「新越ワークス エネルギー事業部」が継続し、営業活動を進めていくとしている。会社所在地はこれまで新潟県新潟市にあったが同県燕市内に変更【（株）新越ワークスエネルギー事業部：2021/02/26】

http://www.saikai-sangyo.com/info_view.asp?id=724

■（株）タガヤ（京都）、持続可能な SDGs 経営の一環として、運営する全ての結婚式場で再生可能エネルギー100%電力を採用。直営の結婚式場である京都セントアンドリュース教会（京都）、大阪セントパース教会（大阪）、神戸セントモルガン教会（兵庫）では、既に 2019 年から紙ストロー採用等の脱プラ推進やペレットストーブ導入による CO₂削減など様々な SDGs 達成に繋がる活動を実施。今回さらにみんな電力（株）（東京）とパートナーシップを結び、上記 3 式場と本社ビルにおいて、再生可能エネルギー100%電力に切り替え 2021 年より使用を開始。3 式場のうち大阪セントパース教会は大阪府大東市で（株）BPS 大東（大阪）が運営し、地域で発生する木質廃棄物、山林未利用材を燃料として使用している BPS 大東龍間バイオマス発電所からの電力を使用【PR TIMES：2021/03/02】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000008.000048965.html>

■船舶代理店大手ベンライン・エージェンシーズ・グループ、東南アジア積みバイオマス発電燃料の港湾代理店サービス取扱量を拡大。日本向けバイオマス需要伸長の中、アジア 17 カ国に 120 以上展開する直営店ネットワークを生かし、PKS 積み出し港での安全で効率的な船積みをサポート。さらに今後見込まれる木質ペレットの荷動き成長にも対応し、豪州やベトナム積みの安定供給ネットワーク構築に注力する【日本海事新聞：

2021/03/10】

<https://www.jmd.co.jp/article.php?no=265590>

■中部電力（株）（愛知）、丸紅（株）（東京）および SB エナジー（株）（東京）と共同で設立した愛知蒲郡バイオマス発電合同会社が、3 月 12 日に愛知蒲郡バイオマス発電所の建設工事に着手。同発電所は愛知県蒲郡市浜町工業団地内に建設する発電出力 50,000kW、想定年間発電電力量が一般家庭約 11 万世帯分相当の約 3.4 億 kWh の木質専焼バイオマス発電所。燃料は木質ペレットと PKS。発電設備一式の設計、機器資材調達、建設工事、試運転までの EPC 業務は東洋エンジニアリング（株）（千葉）が担当。FIT・ID は SB

エナジー名で 2017 年 3 月 13 日に取得済み。運開は 2023 年 8 月の予定【中部電力（株）：2021/03/12、OSR No.460：2021/03/17、東洋エンジニアリング（株）：2019/12/11】

https://www.chuden.co.jp/publicity/press/1206139_3273.html

https://www.chem-t.com/fax/images/tmp_file1_1576031624.pdf

■（株）レノバ（東京）、徳島県に建設中の徳島津田バイオマス発電所のタービン建屋立柱式を 3 月 3 日に執り行ったと公表。発電所の事業者は徳島津田バイオマス発電合同会社。発電出力は約 74.8MW、想定年間発電量は一般家庭約 15 万世帯の年間使用電力量相当の約 50,000 万 kWh。燃料は木質ペレットと PKS。PKS に関しては、資源エネルギー庁策定の事業計画策定ガイドライン（バイオマス発電）（2020 年 4 月改訂）に基づき、（1）持続可能性（合法性）の確保に関する自主的取組の内容と（2）燃料発生地点の情報について、情報公開している。同発電所では今後、ボイラ架構の立柱式も予定。運開予定は 2023 年 3 月【OSR No.460：2021/03/17、（株）レノバ：2021/03/08】

https://www.renovainc.com/development/tokushimatsuda_biomass/202103_2005/

https://www.renovainc.com/business/power_plant/tokushimatsuda_biomass/

■中部電力（株）（愛知）および東邦ガス（株）（同）の 2 社が、（株）エネ・ビジョン（同）が設立した「合同会社くまもと森林発電」（熊本、以下「同事業会社」）に出資することに合意。同事業会社は（株）みずほ銀行（東京）をアレンジャー、（株）日本政策投資銀行（東京）をコ・アレンジャーとするプロジェ

クトファイナンスによる融資契約を締結（3月16日）。事業会社は熊本県八代市において、発電出力75,000kWの木質専焼の「八代バイオマス発電所」を建設、運営することを目的とした会社。燃料は木質ペレットおよび木質チップ（熊本県産の未利用間伐材等）。想定年間発電電力量は一般家庭約15万世帯分相当の約4.8億kWh。2022年4月に本工事開始予定で、2024年

6月運開予定【中部電力（株）：2021/03/16】

https://www.chuden.co.jp/publicity/press/1206154_3273.html

※OSR：バイオマス・再エネ等の専門情報誌
「オンサイト・レポート」の略

3. イベント情報（国内）

※本メールニュースに掲載のイベントは情報として紹介しているもので、参加を推奨するものではありません。

※新型コロナウイルスの影響により、イベント、展示会で急遽中止や延期を決定される場合があります。開催の有無については各ウェブサイト等で最新情報を確認するようにしてください。

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■（株）新社会システム総合研究所「カーボンニュートラルに関する政府の取組・方針と関連ビジネスの展望」

2021年3月29日（月）

SSK セミナールーム（東京）/ライブ配信/アーカイブ配信

<https://www.ssk21.co.jp/S0000103.php?gpage=21099>

◎固体バイオ燃料国際規格化研究会「第2回 固体バイオ燃料国際規格化研究会セミナー」

2021年3月30日（火）

Zoom オンライン発信

<https://solidbiofuelsforum.wixsite.com/sbfj>

■固体バイオ燃料国際規格化研究会「サステナブル・クロス固形化燃料分科会 キックオフ公開意見交換会」

2021年3月30日（火）

Zoom オンライン発信

<https://solidbiofuelsforum.wixsite.com/sbfj>

■NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク（BIN）第191回研究会「広葉樹活用による森林ビジネス展開ー北海道白老町・大西林業の事例ー」

2021年3月30日（火）

Zoom オンライン開催

<https://www.npobin.net/apply/>

■NPO 法人農都会議「バイオマスアカデミー 久慈出前講座ー岩手県バイオマス熱利用の実態と今後の展開ーあまちゃん

の街、岩手県・久慈でバイオマス勉強会!!」

2021年4月8日（木）～9日（金）

平庭山荘（岩手県久慈市）

<https://blog.canpan.info/bioenergy/archive/334>

■（株）JPI（日本計画研究所）「2050年カーボンニュートラルに向けた取組み 農林水産省：バイオマス利活用の推進と今後の展望ーバイオマス産業都市をめぐる情勢、農山漁村における再エネ導入施策、関連予算等ー」

2021年4月15日（木）

JPI カンファレンススクエア（東京都港区）/ライブ配信

<https://www.jpi.co.jp/seminar/15437>

■NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク（BIN）第192回研究会「栃木県那珂川町での木質バイオマス熱売り ESCO 事業の事例」

2021年4月20日（火）

Zoom オンライン開催

<https://www.npobin.net/apply/>

■（株）新社会システム総合研究所「脱炭素で先行する欧州の最新動向と日本のグリーン成長戦略ー2050年カーボンニュートラルへの展望ー」

2021年4月22日（木）

紀尾井フォーラム（東京）/ライブ配信/アーカイブ配信

<https://www.ssk21.co.jp/S0000103.php?gpage=21147>

■NPO 法人農都会議「バイオマスアカデミー第6回 オープンセミナー バイオマス熱利用の普及拡大への道筋ー2月15日

政策提言の具体化、正しい熱利用技術の実践法～」

2021 年 4 月 23 日（金）

オンライン開催（Zoom ウェビナー利用）

<https://blog.canpan.info/bioenergy/archive/338>

■臼杵のほんまもん食材とエネルギー資源の地域循環に関する協議会「地域循環の仕組みを学ぶ親子バイオマスツアーin 臼杵（第 2 弾：バイオマスって何？かぼすで発電してみよう）」

2021 年 4 月 25 日（日）

臼杵市内（小規模木質バイオマス発電施設、他）

<https://www.city.usuki.oita.jp/article/2021020900017/>

※申込期限：2021 年 4 月 16 日（金）

■（株）JPII（日本計画研究所）セミナー「バイオマス炭化燃料の評価技術と炭化ガス化発電技術の最新開発動向について」

2021 年 4 月 27 日（火）

JPI カンファレンススクエア（東京都港区）/ライブ配信/アーカイブ配信

<https://www.jpi.co.jp/seminar/15438>

◎第 12 回バイオマス・ペレット会議～貿易と発電～

2021 年 5 月 17 日（月）～20 日（木）

東京マリオットホテル（東京都品川区）

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=210501&>

■ISAP2020 日本開催組織委員会「国際応用藻類学会第 7 回大会（ISAP2020）」

2021 年 5 月 23 日（日）～28 日（金）

つくば国際会議場（茨城県つくば市）

<https://isap2020-phycology.org/index.html>

■（公社）国土緑化推進機構、島根県「第 71 回全国植樹祭」

2021 年 5 月 30 日（日）

大田市三瓶山北の原（島根県）

<https://www.syokujusai-shimane2020.jp/news/2020/08/71-71-330.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【関西展】

2021 年 9 月 29 日（水）～10 月 1 日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■第 44 回全国育樹祭北海道実行委員会「第 44 回全国育樹祭」

2021 年 10 月 9 日（土）～10 日 10 日（日）

北海道苫小牧市

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/zij/index.htm>

■（一社）林業機械化協会「2021 森林・林業・環境機械展示実演会」

2021 年 10 月 10 日（日）～11 日（月）

北海道苫小牧市

<https://www.rinkikyo.or.jp/>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【東京展】

2022 年 3 月 2 日（水）～4 日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【関西展】

2022 年 9 月 28 日（水）～30 日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【東京展】

2023 年 3 月 1 日（水）～3 日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.bm-expo.jp/>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【関西展】

2023 年 9 月 27 日（水）～29 日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/>

4. イベント情報（海外）

■Torrefaction: Opportune Time for Development

2021 年 4 月 7 日（水）

ウェビナー

<https://ibtc.bioenergyeurope.org/events/torrefaction-opportune-time-for-development/>

■Biomass-based Carbon Sinks. Carbon neutrality 2050

2021 年 4 月 8 日（木）

ウェビナー

<https://bioenergyeurope.org/events/11-events/218-biomass-based-carbon-sinks-carbon-neutrality-2050.html>

■Advanced Biofuels Summit 2021

2021 年 4 月 13 日（火）～14 日（水）

バーチャル

<https://www.worldbioenergy.org/news/592/47/Advanced-Biofuels-Summit-2021/>

■ 7th International Conference on Renewable Energy Gas Technology, REGATEC 2020

2021 年 4 月 14 日（水）～15 日（木）

ヴァイマール（ドイツ）

<http://regatec.org/>

■Bioenergie FORST live 2021

2021 年 4 月 16 日（金）～18 日（日）

オッフエンブルク（ドイツ）

<https://www.forst-live.de/en/forst-live-en>

■Biomass in the Net-Zero Economy Virtual Conference

2021 年 4 月 20 日（火）～21 日（水）

バーチャル会議

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=V210422&>

■The 12th PALMEX Indonesia 2021

2021 年 4 月 20 日（火）～22 日（木）

メダン（インドネシア）

<http://palmoilexpo.com/>

◎Biomass IN THE NET-ZERO ECONOMY

2021 年 4 月 20 日（火）～21 日（水）

バーチャル会議

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=V210422&>

■10th European Algae Industry Summit

2021 年 4 月 21 日（水）～22 日（木）

レイキャビク（アイスランド）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-algae-industry-summit/>

■29th European Biomass Conference & exhibition EUBCE 2021

2021 年 4 月 26 日（月）～29 日（木）

オンライン/マルセイユ（フランス）

<https://www.eubce.com/>

■Value of Biogas

2021 年 4 月 27 日（火）～29 日（木）

バーチャル会議

<https://biogasassociation.ca/vob2021/>

■GASIFICATION SUMMIT 2021

2021 年 5 月 5 日（水）～6 日（木）

リヨン（フランス）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/gasification/>

■Future of BIOFUELS

2021 年 5 月 6 日（木）

バーチャルイベント

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=WEB210530&>

■BBEST 2020

2021 年 5 月 24 日（月）～26 日（水）

サンパウロ（ブラジル）

<http://bbest-biofuture.org/v2/>

■Biofuels & Transport Decarbonization -Towards a Zero-Carbon

Future-

2021 年 5 月 25 日 (火)

バーチャルイベント

[https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=WEB210531
&](https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=WEB210531&)

■Biomass PowerON 2021

2021 年 5 月 25 日 (火) ~26 日 (水)

コペンハーゲン (デンマーク)

[https://fortesmedia.com/biomass-poweron-
2021,4,en,2,1,12.html](https://fortesmedia.com/biomass-poweron-2021,4,en,2,1,12.html)

■Expo Biogaz

2021 年 6 月 2 日 (水) ~3 日 (木)

メッス (フランス)

<https://www.expo-biogaz.com/en>

©13th Biofuels International Conference & Expo

2021 年 6 月 15 日 (火) ~16 日 (水)

ブリュッセル (ベルギー)

[https://www.biofuels-
news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php](https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php)

©International Biomass CONGRESS & EXPO

2021 年 6 月 15 日 (火) ~16 日 (水)

ブリュッセル (ベルギー)

[https://www.biofuels-
news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php](https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php)

■International Biogas Congress & Expo

2021 年 6 月 15 日 (火) ~16 日 (水)

ブリュッセル (ベルギー)

[https://www.biofuels-
news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php](https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php)

■World Sustainable Energy Days

2021 年 6 月 21 日 (月) ~25 日 (金)

ヴェルス (オーストリア) / オンライン

<https://www.wsed.at/>

©European Pellet Conference 2021

2021 年 6 月 22 日 (火)

ヴェルス (オーストリア) / オンライン

<https://www.wsed.at/european-pellet-conference>

■bio360

2021 年 6 月 30 日 (水) ~7 月 1 日 (木)

ブルターニュ地方ルティエ (フランス)

<https://www.bio-360.com/en/>

■The 10th Asia-Pacific Biomass Energy Exhibition (APBE2021)

2021 年 8 月 16 日 (月) ~18 日 (水)

広州市 (中国)

<http://www.apbechina.com/alone/alone.php?id=18>

■ALL-ENERGY Exhibition and Conference 2021

2021 年 8 月 18 日 (水) ~19 日 (木)

グラスゴー (イギリス)

<https://www.all-energy.co.uk/en-gb.html>

■3rd European Conference / Biogas & Biogas Upgrading Biogas PowerON

2021 年 9 月 1 日 (木)

コペンハーゲン (デンマーク)

<https://fortesmedia.com/biogas-poweron-2021,4,en,2,1,14.html>

■Svebio Fuel Market Day

2021 年 9 月 9 日 (木)

オンライン/ストックホルム (スウェーデン)

[https://www.svebio.se/en/evenemang/svebio-fuel-market-
day-2/](https://www.svebio.se/en/evenemang/svebio-fuel-market-day-2/)

■3rd European Conference / Trade & Power Biomass PowerON 2021

2021 年 9 月 15 日 (水) ~16 日 (木)

コペンハーゲン (デンマーク)

[https://fortesmedia.com/biomass-poweron-
2021,4,en,2,1,12.html](https://fortesmedia.com/biomass-poweron-2021,4,en,2,1,12.html)

©Advanced Biofuel Conference 2021

2021 年 9 月 21 日（火）～23 日（木）

オンライン/ストックホルム（スウェーデン）

<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2021/>

■EXPO BIOMASA 2021

2021 年 9 月 21 日（火）～23 日（木）

バリャドリッド（スペイン）

<https://www.expobiomasa.com/en/salon-gas-renovable>

■RWM & Future Resource 2021

2021 年 9 月 22 日（水）～23 日（木）

バーミンガム（UK）

<https://www.rwmexhibition.com/>

■Progress in Biogas V

2021 年 9 月 22 日（水）～24 日（金）

オンライン会議

<https://ibbk-biogas.com/schedule/progress-in-biogas/>

■16th International Conference BIOMASS for ENERGY

2021 年 9 月

キエフ（ウクライナ）

<https://uabioconf.org/en/>

■13th Biofuels International Conference & Expo

2021 年 10 月 19 日（火）～20 日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php

■International Biomass Congress & Expo

2021 年 10 月 19 日（火）～20 日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index_2021.php

■International Biogas Congress & Expo

2021 年 10 月 19 日（火）～20 日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

https://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index_2021.php

■POWERGEN INDIA

2021 年 10 月 27 日（水）～29 日（金）

ニューデリー（インド）

<https://www.powergen-india.com/>

■17th Carbon Dioxide Utilisation Summit

2021 年 10 月 27 日（水）～28 日（木）

ブリュッセル（ベルギー）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/co2/>

■European Biomass to Power Conference

2021 年 11 月 17 日（木）～18 日（金）

マンチェスター（UK）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

■Future of Biogas Europe 2021

2021 年 11 月 24 日（水）～25 日（木）

ベルリン（ドイツ）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

■WOODEX

2021 年 11 月 30 日（火）～12 月 3 日（金）

モスクワ（ロシア）

<https://woodexpo.ru/Home>

■bio360

2022 年 1 月 26 日（水）～27 日（木）

ナント（フランス）

<https://www.bio-360.com/en/>

■Carrefour International du Bois

2022 年 6 月 1 日（水）～3 日（金）

ナント（フランス）

<https://www.timbershow.com/en/>

2022 年 6 月 2 日（木）～4 日（土）

ヴァガリード（スウェーデン）

5. 2021 年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報（都道府県順）

※締切や公募の条件等の詳細は各自治体にお問い合わせください。

◇：ストーブ

◆：ストーブ・ボイラ共

【宮城県】

◇加美町「令和 3 年度加美町木質バイオマス推進事業補助金」

<http://www.town.kami.miyagi.jp/index.cfm/7,18939,120.html>

※申請の受付は 2021 年 4 月 1 日（木）から開始

【山形県】

◇舟形町「舟形町再生可能エネルギー設備等導入設置費補助金」

<http://www.town.funagata.yamagata.jp/docs/2019050700011/>

【新潟県】

◆十日町市「令和 3 年度十日町市再生可能エネルギー活用促進

費補助金」

<http://www.city.tokamachi.lg.jp/boshu/1585094345974.html>

※申請の受付は 2021 年 4 月 1 日（木）から開始

◇魚沼市「令和 3 年度再生可能エネルギー普及促進事業」

<https://www.city.uonuma.niigata.jp/docs/2017031300052/>

※申請の受付は 4 月 1 日（木）から開始

【鳥取県】

◇北栄町「令和 3 年度北栄町創エネルギー等設備設置費補助金」

<http://www.e-hokuei.net/1833.htm>

※申請は 4 月 1 日（木）から先着順で受付

【愛媛県】

◆内子町「令和 3 年度内子町地球温暖化対策機器導入促進事業」

<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/10/chikudenti.html>

※4 月 1 日（木）から受付開始

6. 公募等情報（締切順）

■NEDO「2021 年度『研究開発型スタートアップ支援事業／Product Commercialization Alliance (PCA)』に係る公募について」

公募期間 2021 年 2 月 26 日（金）～2021 年 4 月 5 日（月）

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100295.html

■経産省資源エネルギー庁「令和 3 年度『エネルギー等の導入促進のための広報等事業委託費における再エネ導入・運転人材育成支援事業（木質バイオマス発電における人材育成）』に係る企画競争の委託先公募について」

募集期間 2021 年 3 月 17 日（水）～4 月 7 日（水）

https://www.enecho.meti.go.jp/appli/public_offer/2020/20210317_001.html

■経産省資源エネルギー庁「令和 3 年度『新エネルギー等の導入促進のための広報等事業委託費における再エネ導入・運転人

材育成支援事業（メタン発酵バイオガス発電における人材育成）』に係る企画競争の委託先公募について」

募集期間 2021 年 3 月 17 日（水）～4 月 7 日（水）

https://www.enecho.meti.go.jp/appli/public_offer/2020/20210317_002.html

■（一財）環境イノベーション情報機構「令和 2 年度第 3 次補正予算二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）」

公募期間 2021 年 3 月 23 日（火）～4 月 26 日（月）

https://www.eic.or.jp/eic/topics/2021/resi_r02c/002/

■NEDO「2021 年度『新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業』に係る公募について（予告）」
公募期間（予定）2021 年 3 月下旬～2021 年 5 月上旬
https://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100304.html

■農林中央金庫「『農中森力基金』第 8 回助成事業の募集について」
募集期間 2021 年 4 月 1 日（木）～6 月 30 日（水）
https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2021/post-617.html

■東京都「地方卸売市場省エネルギー等対応施設整備補助金」
受付期間 2017 年 4 月 1 日（土）～ 2022 年 3 月 31 日（木）
<https://www.shijou.metro.tokyo.lg.jp/jouhoukoukai-portal/pdf/jiritsu/hojo/g3-3.pdf>

■東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」
事業期間 2014 年度～2023 年度
http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html

■高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

■高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

■高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」
http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

■高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」
http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030

■北海道「林業・木材産業改善資金」
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/kaizennshikinn.pdf>

■栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

■徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

■奈良県「新エネルギー等対策資金」
<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>
※融資制度

■（公財）日本環境協会「令和 2 年度環境配慮型融資促進利子補給事業」
https://www.jeas.or.jp/activ/prom_24_00.html
※融資制度

■横浜市「よこはまプラス資金（環境・エネルギー対策）」
<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/plus/hozenshikin.html>
※融資制度

■千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyuuankankyou/ne/shien-jigyousha.html>

■千葉縣市原市「市原市企業立地促進条例」
<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」
<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■（独）農林漁業信用基金「災害で被災された方の支援について（新型コロナウイルス感染症による影響を含む）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shien/index.html>